

別記様式（第3条関係）

会 議 録（1）

会議の名称	第1回桶川市地域公共交通会議	
開催日時	平成28年11月30日（水） （開会）午前10時10分・（閉会）午前12時	
開催場所	桶川市役所仮設庁舎301会議室	
主宰者の氏名	小野克典（桶川市長）	
議長の氏名	松本幸司（桶川市副市長）	
出席者氏名 （委員）	1号委員：松本幸司 2号委員：長南克幸、高橋直樹、山崎俊明（代理：栗原大統）、 鈴木貴大（代理：鈴木秀忠） 3号委員：熊谷恵一、小谷彰治、高橋弘之 4号委員：鶴岡洋 5号委員：高原昭 6号委員：新井隆喜、仲又清美、新井孝雄、佐藤正廣、梶山 修、三澤みどり 7号委員：柳瀬光輝 8号委員：金子秀和 9号委員：岡村敏之、相沢興、久保田浩二、富岡洋（代理：綿 貫真一）、畦地英樹、鳴海太郎	
欠席者氏名 （委員）	無	
説明員氏名	ランドブレイン(株)：太田真一、瀬戸慎一	
事務局職員 職名及び氏名	安心安全課：課長・折原和彦、主査・中野栄司、主事補・虻 川海	
会 議 事 項	議 題	・委嘱状交付 ・市長あいさつ (1) 職務代理者の指名について (2) 市内循環バス見直し検討スケジュール（案）について (3) 市内循環バスを取り巻く現況把握について (4) 地域住民の移動実態・ニーズの把握結果と市内循環バス に関わる課題について
	決定事項等	
	第1回は課題の確認であり、決定事項は特になし。 第1回の追加意見は12月末日まで受付。	
配布資料	委員名簿・座席表 資料1 市内循環バス見直し検討スケジュール（案） 資料2 市内循環バスを取り巻く現況把握 資料3 地域住民の移動実態・ニーズの把握結果 資料4 市内循環バスに関わる課題 資料5 当面のスケジュールについて 資料6 桶川市地域公共交通会議の公開に関する要領 参考資料 近隣市におけるコミュニティバス等の運行状況	

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	委嘱状交付 市長あいさつ 会長の選出 要綱第5条第1項の規定により会長は松本副市長以下 松本会長が議長となり進行。
事務局	・ 本日の会議は、委員 24 名全員出席により、要綱に基づき、定員の過半数の出席のため、会議は成立となる。
議長	・ 会議は、原則公開となっているが、公開・非公開について事務局から説明をお願いしたい。
事務局	・ 公開、非公開について説明
議長	・ 事務局の説明について、質問等があるか。 ・ 質問等がないので、公開、非公開については、事務局の説明のとおりとする。 ・ 本日の議題で、非公開とする事項はあるか。
事務局	・ なし
議長	・ 本日の傍聴人は。
事務局	・ 傍聴者はいない。
議長	・ 続いて議事録の署名人について、本日の議事録の署名人を、三澤委員をお願いしたい。
委員	・ 承諾
議長	・ 議題（1）職務代理者の指名について 職務代理者の指名について、事務局から新井隆喜委員という（案）が出されているが、それでよろしいか。
各委員	・ 承認
議長	・ 議題（2）市内循環バス見直し検討スケジュール（案）について説明をお願いします。
事務局	・ 説明 ※資料1、資料5
議長	・ 事務局から、29年度に市内循環バスの見直し運行計画を策定し、30年度に運行を開始するスケジュール案が示されたがこれについて議論したい。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この会議で決まった見直し計画により、しばらくの間そのまま運行していくのか。もし、運行時間帯等に何か問題等があっても、すぐ改善はされないのか。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・決まった計画について、例えば 10 年間一切変更しないというものではない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事前送付された資料中のアンケートの結果を見たが、私が近所の高齢者から聞いたような実際に困っている人の声が反映されていない。 ・本当にバスが必要な人でも、バスは自宅付近を通らないとっていて声をあげない。不便を感じながらタクシーを利用して病院等に行っている。 ・そういう意見をくみ上げ、もう少し時間をかけて検討していった方が良いのでは。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・短期間の会議だけで拙速した計画を決定して、運行を始めることは考えていない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・早期に見直しを求める声もあるが、議論によっては、本日のスケジュールよりも伸びる可能性はあるかもしれない。市民が納得できるように検討していきたい。 ・第 2 回会議では、もう少し具体的な見直しがわかるスケジュールを提示したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・会議でなくてもよいので、市民の意見を聞いて反映できるような工夫をしてほしい。 ・パブコメ、第 4 回会議をいつ頃予定しているわかる範囲でよいので教えてほしい。 ・循環バスの見直しについての検討経過をホームページ等で市民に対して情報提供すると思うが、市民がいつ意見を出せるのかわかるように示してほしい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールについて事務局から補足説明をお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・この会議で 3 月までに、計画案が作成されるという前提で、パブコメは 5、6 月に行い、計画の策定は 7 月という想定をしていた。 ・会議録等についてはホームページで公開して、市民から意見を募集できるような対応をしていきたい。 ・スケジュールがある程度固まった時点で実施月を入れたスケジュールを提示したいと考えているが、現時点では流動的であるため、ご理解いただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この会議では、交通全般ではなく、あくまでもバスの見直しを議論するという事でよいのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・東松山のような方式のデマンドタクシー、タクシー事業者への補助、美里町が行っているようなタクシー券などの制度検討はありえないのか。 ・この後、公共交通の現状と課題について説明する中で、課題解決の視点としていくつか例示しているが、必ずしもバスに限らず、デマンドとの組合せという視点も含めいろいろな視点から桶川市にふさわしいシステムを検討していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・他の委員が発言したように、地域公共交通会議ではどういう交通システムが考えられるのかを議論するのだと思うが、本日の資料はバス主体となっている。このため、循環バスの問題に限定されてしまい、これからの会議を進めていく中、幅を広げた議論ができるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・桶川市の市内循環バスは、運行して15年が経過しており、市民の要望も多く寄せられている。そのため、まずは、市内循環バスの見直しをメインと考えているが、デマンドタクシー等の市内循環バス以外の議論も必要となる可能性があると考えており、委員の意見や会議での議論を踏まえた上で資料を用意したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査等は終わっているようだが、アンケートやパブリックコメントだけでは市民の意見を十分吸い上げられないと思うので、自治会等からも地区の意見を吸い上げることを考えてもよいのでは。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・意見の汲み取りについては検討していきたい。 ・市内循環バスの現状、課題について資料が用意されているので、議題を進めたい。 ・議題（3）市内循環バスを取り巻く現況把握について （4）地域住民の移動実態・ニーズの把握結果と市内循環バスに関わる課題について 関連があるので一括で説明をお願いします。
説明員	<p>説明 ※資料2～4</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は、第1回ということで、現状、課題を踏まえてのぎっくばらんな意見交換の場としたい。課題やその課題を改善するための視点として、追加すべきものなど、忌憚のない意見・発言を委員お一人おひとりをお願いしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの見直しだけでなく、桶川全体として、公共交通に関して市民が何を必要としているのか議論することも重要だと思う。大きなテーマとしてコミュニティバスの見直し検討に取り組んではいくが、市民一人ひとりの小さな声も考えた

	<p>ときに、もっと身近な問題で、たとえばバス停の位置を変えたら解決するようなものもあると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大掛かりな見直しを待たなくても、場合によっては早期に対応できるものもあるだろう。 ・また、タクシー事業者や社協等既存のシステムとの連携、さらには NPO 等市民主体の運行も含め議論できたらいいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ベニバナウォークへの直通バスの事業者に運行するに至った判断や考え方を聞きたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・もともと近くにバス路線があった。ベニバナウォークの方から、従業員の通勤のために路線を設けて欲しいという依頼があり、ベニバナウォークと協議を重ねた結果、直通バスを運行することに至った。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的に企業は送迎バス対応が普通だと思うが、それを路線バスとして運行したことについてはどう思うのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・企業バス等になると、限られた人のみの輸送となるが、ベニバナウォークは商業施設ということで不特定多数の来場者が見込まれる。貸切バスよりは運賃収入を得て事業性を確保したいということ、近くにバス路線もあるため相互に利用できるということから路線バスとして運行に至った。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・川越や菖蒲車庫行きの路線バスについて、利用者減少の要因分析があると良い。 ・東口広場整備に伴う影響や利用の現状も考慮した方が良いのではないか。 ・タクシー事業者は、色々な客を乗せているからいろいろな情報を持っているので、タクシー事業者が把握している利用者の利用時間等の実態や声も整理して教えてほしい。 ・県央病院だけでなく、この地域の基幹病院などへのアクセスも配慮した方が良い。 ・高齢者へ無料パス券などを配布し、孫等と一緒に出掛け、街にお金を落とす仕組みも併せて考えてもよい。 ・子育て中の人やバスについてどう思っているのかも分析してあるといい。 ・民間路線バスと、どこかで接続して、市内循環バスの路線をコンパクトにすることも考えてはどうか。 ・バスを運行するに当たっての快適性、定時性、地域の情報発信等を行えば利用者は増えるのでは。 ・今は2時間に1本の所もあるので、バスの本数が多くなれば、便利になりもっと乗るのでは。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・本数が多くても、遅れがあると利用者の減少となるのではないか。時には2、3台続けて来ることもある。やはり決まった時間に来て駅まで何分で行けるという確約がないとダメ。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの行政負担はどのくらいかかっているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在4路線で年間約5,500万円を市が負担している。減価償却費、ガソリン費等の増減はあるが、想定して予算は組んでいる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・上尾市は再編によって便数が減った地域もあるので、桶川市は便数については恵まれていると思う。 ・友人が北本市に住んでいたが、北本市のデマンドタクシーは利用したい時に予約が取れず、利用出来なかった。利用したい時に利用できる桶川市はいいと思う。 ・無理に増便せず、限られた予算の中で、運賃も均一でなくてもよいので、他都市の良い所の情報を集め、タクシー等の既存の活用も踏まえて、様々な視点で検討していくべきだと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の資料は、既存の民間路線バスは現状のままを前提としていると思うが、既存のバス路線の改編・統合を含め検討するかどうかをバス事業者の意見を聞きながら、議論する俎上に上げてほしい ・病院が運行する送迎バスがあることで、そのニーズが満たされているかもしれないし、一部それを活用することも考えられるので、その他送迎バスとの役割分担についても議論したほうがよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・会議後に意見を出す場合、メール等はダメなのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・メールによる追加意見の提出も受け付けています。市のホームページに書かれている、安心安全課のメールアドレス宛てにお願いします。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・とくに意見がなければ、これで終了としたい。
事務局	閉会

平成28年12月28日調整

この会議録の記載が真正であることを確認して、署名する。

議事録署名人

三澤みどり